

柿 (次郎柿)

情報提供：静岡県袋井市在住 I 様 (55349) 2013年12月13日

自然落果が少なく、収穫量が30%増、収益は12%増でした。次郎柿の特長がでていて、甘味が強く、お客様からも喜びの声を頂きました。

**特長**

- 果実が前年度より多く着果したこと、自然落果が少なかったため、収量が前年比で30%増加、収益は12%増加しました。
- 昨年は11月中頃に収穫が終わりましたが、今年は11月末まで続き、収穫時期が長くなりました。
- 葉も果実も大きく、色鮮やかで、傷もなく、日持ちが良くなりました。
- 味には次郎柿の特長が出ていて、甘味が強いです。

**栽培地状況**

- 静岡県磐田市北部の里山で、日当たりの良い傾斜地にあります。
- 露地栽培8年目で、スーパーERの使用は今年が初めてです。
- スーパーERの使用面積は1.7ヘクタールです。

**施用状況**

<2013年～> 10アール当たり

	日付	希釈倍率	施用量
土壌灌水	2/ 16	1000倍	400ℓ
作物への散布 (葉の両面)	6/ 13		
	7/ 10		
収穫時期	11月初旬 ~		

**生産者の声**

- お客様から「甘くて美味しい」と喜ばれ、再注文も多かったです。
- 今年初めて使用したため昨年との比較がはっきり出ませんが、良い方向に向かっていると思います。  
来年度は今年よりも良い柿を作りたいので、引き続きスーパーERを使用します。
- 樹木が元気なため、病気はあまり出ませんでした。少しカイガラが付いたようです。
- スーパーERを使用した有機肥料と柿酢の消毒をしました。

**◆ご使用にあたってのポイント**

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壌中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壌への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をください。
- ・ スーパーERの使用で、土壌の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壌環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。